

【様式24】

提 案 の 概 要

施設名： 白鳥庭園

団体名： しろとりの杜グループ

岩間造園株式会社

公益財団法人名古屋市みどりの協会

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

＜基本方針と抱負＞

私たち【しろとりの杜グループ】は、代表企業が白鳥庭園の作庭当初から 維持管理業務に至るまで長期に渡って携わってきました。12 年間の指定管理業務で培った実績と経験を 全て注ぎ込み、日本庭園としての価値を高め、白鳥庭園が“名古屋の誇れる日本庭園”として未来へ継承するとともに庭園文化の魅力を広く発信していきます。

また、地域に伝わる水の物語を軸に「歴史と文化の交流が生まれる場所」、白鳥庭園作庭 50 年へ向けて「市民の誇りとなる日本庭園」を目指します。

＜目指す管理運営と庭園像＞

～人々が集う名古屋の誇りとなる庭園～ 名勝指定を見据えた庭園管理

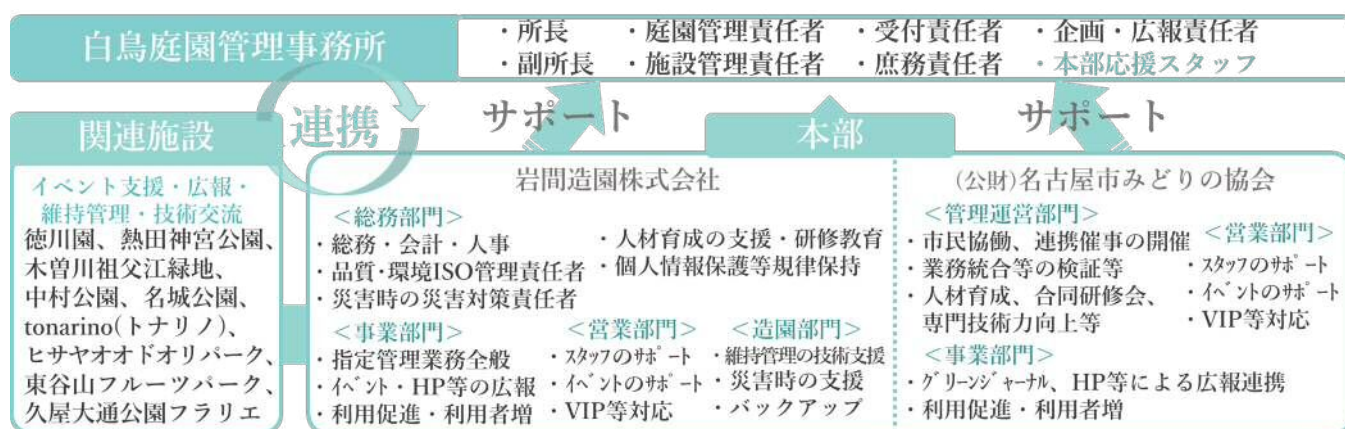
～人々をつなぐ庭園～ 市民に愛され、親しまれ、ともに育む庭園運営

～名古屋の歴史、文化の魅力、豊かな自然を伝える庭園～ 新たな白鳥庭園

②管理運営体制

＜組織・人員の配置・体制＞

本部及び、管理事務所との明確な役割分担のもと、効率的かつ効果的な管理運営を遂行し、当グループが名古屋市を拠点に指定管理を行っている公園等の関係施設と連携いたします。



＜人材教育方針＞

定期的な研修や視察、OJT 等によって、全スタッフに徹底した教育を行い、公園管理運営に必要な専門 知識・技術の向上、接客サービスの能力を向上していきます。

また、日本庭園の本質的な 価値を適切に保存し、作庭意図や多様な特性を読み解き、安定した維持管理に 繋げるために、研修などへの参加や資格取得支援を実施します。

＜白鳥庭園を支える人づくり、しくみづくり＞

ホスピタリティー(思いやり)ある従業員の対応が、来園者の信頼を得て、また白鳥庭園へ来園したい という感情が生まれます。スタッフのホスピタリティーを育てる環境づくりを行い、マニュアルを 超えた、適切な対応やサービス提供ができる意識の高いスタッフと仕組みづくりに取り組みます。

＜個人情報の管理＞

個人情報を取り扱う責任者を所長とし、指定管理業務における個人情報保護を念頭にプライバシーマーク対応版「個人情報保護マニュアル」の遵守、個人情報の取り扱いに関する研修を実施します。



＜維持管理＞安全、安心、快適性を追求する維持管理

私たちは、来園者の安全・安心を第一に快適に利用できる施設づくりに取り組んできました。今後もこれまでに培った知識と技術により、安全、安心、快適性を常に追求する計画的な維持管理で質の高い庭園空間を提供いたします。

- ボランティアや他公園スタッフによる多角的視点チェック
- 効率的な維持管理が行える「庭園管理アプリ」をシステム開発企業と協働で開発・運用
- 専門業者による特別清掃の定期実施をプラス
- 汐入亭の自動扉の保守点検（年2回）、上水の水質調査(年1回)実施

＜修繕計画＞

施設の状態を定期的に点検・診断し、事故や大規模な修繕等の致命的欠陥が発現する前に対策を講じて事故や災害を未然に防ぐ「予防保全的修繕」を方針に掲げます。

- 2023 年「安全と安らぎ」: 木橋修繕、園路、飛び石周りの土舗装の修繕、2024 年「見所創出」: 清羽亭露地整備、フジ棚整備、2025 年「用と景」: トイレ改修、ベンチ修繕、季節の花の補修、2026 年「おもてなし (35 周年)」: 清羽亭の修繕、案内板の整備、竹垣の補修、2027 年「継承」: 清羽亭の修繕、池の護岸、園路補修
- 定期用(各年に必ず実施される内容)と緊急・応急用に費用を予め振り、計画的に更新します。

＜災害時の危機管理体制及び事故発生時等の対応方針＞

新型コロナウイルス感染症の流行を契機に「マニュアル」を整備し、定期的な訓練や応援を消防署や近隣施設、熱田神宮公園等と連携体制の確立し、各種訓練で災害・事故へ備えます。

(2) 実施業務の計画について

①指定管理業務

＜協働(パートナーシップ)＞ 市民や地域をつなぐ白鳥庭園

「集う・つながる・伝える」の3つの観点から適したパートナーと協働し、維持管理・魅力増進・サービス向上に繋がります。これまでに培ったネットワークを最大限に生かし、市民が誇りに思い、愛される白鳥庭園を目指します。新たなパートナー作りにも力を注ぎます。

- 市民の皆さまと協働し、魅力ある庭園づくりを実施(ガイド、イベント運営、魅力発信などのボランティアチームを立ち上げ)
- 年間 100 万人の来場者を迎える国際会議場のアフターコンベンション機能を充実(令和 8 年のリニューアルオープンに向けて更なる連携準備)
- 名古屋学院大学の研究・活動の場として開放し、教育連携を強化(まちづくり観光への利活用)
- 国際会議場、名古屋学院大学との三位一体の連携で熱田白鳥地区のイメージアップに貢献(名古屋学院大学と白鳥庭園をユニークベニューとして 活用できるよう準備)

- 地域団体・行政と共にエリアマネジメントに参画(熱田神宮との相互利用サービス、日比野商店街との緑化活動、あつた宮宿会で「あつた」のファンづくり、熱田区役所との熱田ブランド戦略や横のつながりづくり、イオンモール熱田の CSR 活動によるシャトルバス運行)
- 観光施設・宿泊施設・交通機関との協働で名古屋の観光を強化(他庭園とのスタンプラリー、健康づくりと観光のヘルスツーリズム、各所への情報発信、徳川園や全国の日本庭園との連携)
- 各分野の専門家と協働し、伝統の継承と新たな創造にチャレンジ(庭園設計に携わった方々や、植物・生物・文化・芸術・広報のアドバイザーと協働)

＜利用者サービス＞ 一期一会のおもてなしの心による接客・対応

白鳥庭園は多く市民が訪れる庭園です。コミュニケーションを取りながら様々なニーズの把握とお客様目線でのサービス向上に取り組めます。名古屋の伝統文化の顔である白鳥庭園で働くものとして、一人一人が白鳥庭園の存在意義を理解し、お客様の気持ちを第一に考えた“一期一会”のおもてなしの心で質の高いホスピタリティー(思いやり)ある接客対応を行います。

- お客様をお迎えする演出づくり：印半纏 や有松絞りの制服を着用、季節ごとの花飾り
- 花見ごろやビューポイントが掲載されている季節のリーフレット(6シーズン)製作
- リーフレットの多言語化(英語、中国語、フランス語、ドイツ語等)
- ハザードマップを作成し、楽しく安全に庭園を散策できるよう工夫
- 初めての来場でも楽しく散策できるマップづくり
- QRコード付きの木製樹名札と、見頃の花のコメント付き可動式樹名板の設置
- 園内外の案内看板の改修やおもてなし窓口(ガーデンコンシェルジュ)の設置
- 授乳室とおむつ替え台の設置、レンタルサイクル、夏の蚊対策など利便性の向上

＜庭園全体＞ 我がまちの誇りとなる日本庭園を目指して、名勝指定を見据えた庭園管理

私たちは白鳥庭園・清羽亭の設計思想を大切に、名古屋の歴史文化の結晶ともいえる白鳥庭園を長期的視点で守り育て100年先も名古屋の誇りとして愛される文化財庭園を目指します

- 市民が好む景観についてアンケートを行い、市民参加による新たな見どころづくり
- 知識・技術、ネットワークを駆使し、植物の健康管理を行う樹木診断チームの設置
- 作庭意図を踏まえた13エリアの景観カルテ(Ver. IV)のアップデート
- 作庭50年に向けたアクションプランを策定し、文化財庭園を目指す計画的な管理を実施
- 樹木医チームによる樹木の重点管理
- 水質調査キットによる水質のチェックで美しい水景観の維持
- 鑑賞価値の高い様々な竹垣を設置した「竹垣博物館」の設置と技術の保存と継承
- おもてなし花壇の設置、駐車場ゲートのデザイン見直し等により風格あるエントランスへ
- 庭園アドバイザーの設置
- 庭園管理チームを設置し、庭園を支える人づくりとガーデンキュレーター育成
- スマートチャレンジ「庭園管理アプリ」を活用した技術の保存と継承。
- 日本庭園-原風景のレフュージア(待避場所)として、生物多様性に配慮した植物管理
- 無農薬管理の継続実施

＜清羽亭(茶室)の維持管理＞

質の高い空間を維持しつつ、様々なニーズに対応できる柔軟な施設管理を目指します。白鳥庭園の目指す姿は、伝統文化の活動、伝承の拠点として、名古屋の歴史や伝統文化を踏襲し、新しい文化を創造・発信する場所、歴史と文化を生かした「文化の薫り高いまちづくり」の側面を担う庭園です。清羽亭は、その白鳥庭園のシンボル施設として常に美観を保ち、庭園風景としてだけでなく、日本の美と心、そして文化に親しむ利用がなされてこそ、本当の意味でのシンボルとなりうると考えています。

- 調達難しい資材や数寄屋建築の技術者の確保

- 畳、障子、ふすま、腰紙、よしず、炉壇、濡れ縁等の定期メンテナンスの実施
- 茶道具（お釜、掛け軸、茶碗、灰等）のお手入れによる茶室としての品格向上
- 苔保全協力金を立ち上げ、露地庭の苔の整備・保全に活用（協議の上実施）
- 6月～10月は、清羽亭のふすまを夏襖（簀戸）に取り替え
- お香の老舗とコラボした四季ごとに香りを調合したお香を焚き締め
- 露地（園路からの飛び石等）を魅力的に、使いやすく整備し、利用率向上（協議の上実施）

＜魅力増進＞ 白鳥庭園の特徴を最大限に活用した魅力増進

白鳥庭園が本来持つ魅力をしっかり引き出す管理運営と共に、その魅力をより感じられるイベントを開催します。日本文化発信の拠点、また自然を愛でる場として、それらを伝える講習会等の企画を「集う・つながる・伝える」の三段階で企画し、魅力増進に取り組みます。

- 白鳥庭園の特徴を生かした植栽管理を丁寧に行い、いつ来られても魅力ある風景を(魅力を生かす植栽管理、樹名札設置、英語解説、ライトアップ、工芸展など)
- 年間催事で、季節の茶会や日本伝統文化を広く発信(季節の茶会、文化・芸術の紹介など)
- 新たな魅力の気付きを創出(現代美術のインスタレーション、熱田神宮公園で上げる熱気球とライトアップのコラボレーションなど)
- コンペ開催で、白鳥庭園を深く知っていただく機会を創出(インスタントカメラのフォトコンテスト、俳句大賞、写生大会など)
- 日本文化講習会を充実させ、文化発信力を向上(オンライン講座、新たな茶の湯講座、PTA 講座など)
- 名古屋・熱田の歴史・文化等をテーマにした企画
- 様々なこども向けプログラムでこどもたちの学習に活用(茶室での寺子屋、観察帳など)

＜利用促進＞ 多彩な利用促進とクチコミコミュニケーションを活用した戦略的な広報・PR 活動

来園のしやすさの多角的整備、魅力・情報の効果的な発信を「集う・つながる・伝える」を軸に展開します。効果の高い PR でリピーターを育み、観光客、新たな利用者層の獲得にも力を注ぎます。「名古屋に来たら白鳥庭園に」とクチコミコミュニケーションで拡散します。

- 話題の観光スポットと連携した利用促進(熱田神宮、ジブリパーク、徳川園)
- 特別開園と来園者サービス DAY とを実施(休園日の特別開園、早朝・夜間開園、着物 DAY など)
- 新たな来園のキッカケづくり(パーク&ライド、シェアサイクル、後納制度による学生の入園無料など)
- デジタルでもアナログでも、お手元に情報をお届け(友の会へのニュースレター、LINE 公式アカウントなど)
- 現代版のクチコミコミュニケーションツール SNS を戦略的に活用

②自主事業（実施している場合）

＜白鳥庭園の魅力アップ、利用促進につながる自主事業＞

- 白鳥庭園の魅力を活かした「集い」を生む自主事業
 - ・ 白鳥庭園全体が幸せで豊かになる「本格和婚ガーデンウェディング」の開催
 - ・ 白鳥庭園プライベート特別利用（本格的な茶会、迎賓館、ロケーション撮影など）
- 市民や地域・企業との連携による「つながる」自主事業
 - ・ 公募型イベント（リアル謎解きゲーム）
 - ・ シェアサイクルで利便性も熱田エリアの回遊性もさらにアップ！
- 名古屋学院大学との連携による魅力を「伝える」自主事業
 - ・ IT 技術を活かして歴史・観光を盛り上げる研究活動を共同で実施
 - ・ 音声ガイドアプリから庭園案内アプリへバージョンアップ
 - ・ 清羽亭のフル CG モデル制作
 - ・ 庭園魅力を伝える小冊子の制作

- 庭園の魅力と利便性を高める自主事業
 - ・来園記念となるグッズや茶の湯や庭・植物の書籍、名古屋のお土産品などの販売
 - ・災害救援型自動販売機の設置
 - ・来園者に大好評の鯉のえさの販売を実施
 - ・問合せの多い観光バスの夜間預りを閉園後の駐車場を利用して実施
 - ・利用者の準備負担を軽減するために、茶会備品の貸し出しや消耗品等を販売
 - ・他ではなかなか手に入らない貴重な山野草や季節の茶花を販売
 - ・野点セットの貸し出し、お茶と季節のお菓子を茶寮汐入より提供
- 汐入亭の利用について
 - ・贅沢な時間と茶寮汐入オリジナルメニューを提供、コラボメニューの開発
 - ・地元陶芸作家の季節に合わせた器で、飲むだけでないお茶のあり方を提案
 - ・お子様への配慮、障害者や老人施設等の利用にも対応
 - ・キャッシュレス対応、オンラインショップの開設

＜白鳥公園（北側）駐車場の利用について＞

北側駐車場をコインパーキングとして運営管理いたします。

- ・24 時間 365 日体制で対応。遠隔操作機器を設置しゲート開放。
- ・駐車場内のトラブルにロードサービスを無料提供。
- ・コインパーキング&シェアサイクル&白鳥庭園と連携で割引や特典サービスを実施。

＜自主事業収支計画・収益還元＞

白鳥庭園を次世代に継承していくために施設の修繕や魅力アップにつながる事業へ還元していきます。自主事業で得た収益の内 100 万円を指定管理事業に還元します。

《具体的な還元》

- 白游会（ボランティア）の活動に還元します。
- 公園灯を LED に更新。
- チラシ・リーフレット等の印刷代に還元します。
- 茶道具等の備品購入に還元します。
- 鯉の購入に還元します。庭園の魅力アップにつながる事業に還元します。

（３）収支計画について

①管理運営にかかる費用等

＜年度ごとの指定管理料提示額＞

令和 5 年度	103,000 千円
令和 6 年度	103,000 千円
令和 7 年度	103,000 千円
令和 8 年度	103,000 千円
令和 9 年度	103,000 千円

＜期間を通じた収支計画（指定期間を通じた項目別内訳）＞**【収入】** (単位：千円)

区 分	金 額
指定管理料提示額（A）	515,000
収益事業還元金（B）	5,000
収入合計	520,000

【支出】 (単位：千円)

区 分	金 額
人件費	202,500
消耗品費、備品購入費等	9,750
光熱水費	49,500
清掃費	38,750
建物管理費	16,500
植物管理費	42,100
設備保守点検費	24,000
修繕工事費	19,350
講習会・展示会費	0
イベント・催事費	38,650
広報・宣伝費	12,200
駐車場管理費	12,450
一般管理経費	4,250
租税公課等	50,000
支出合計	520,000

＜経費削減について＞

私たちは、指定管理者の視点で、適正かつ効果的に管理運営費を執行し、これまでの指定管理業務で培った経費節減の実績や技術を導入するとともに、「費用対効果」に対する意識を高め、更なるコスト縮減に向けた行動計画を策定します。

◆コスト縮減のための3つの視点：「経費節減」「収入の拡大」「収益の還元」

＜具体的な経費削減策＞

- 自前修繕による早期対応
- チラシやパンフレット等の印刷物等のデザインや入稿管理の内製化による経費削減
- こまめな修繕、部品交換、機能の追加更新を計画的に行う予防保全的修繕の実施
- 公園灯のLED化による電気料金の削減と公園灯の長寿命化
- マルチスタッフ化やシルバー人材センターとの連携・協力による労務費の経費削減
- 休園日となっている第三水曜日の開園
- ろ過ポンプのインバーター制御による省エネ運転
- 自動芝刈り機の導入や温水除草、温水高圧洗浄など新技術の活用
- 竹のリサイクル、リユースによる材料費の削減
- 他指定管理公園との連携開催による講師料などの経費削減
- 管理機材の他公園との共同利用による備品購入費の節減
- 一括発注、複数年契約により、委託料の節減
- 使われなくなった茶道具引き取り、再利用、貸し出しを行うことで、備品購入費の節減
- イベント開催時における学生ボランティアの協力
- 入園チケットの裏面にイベント情報等を印刷し広告料を還元
- クラウドファンディングを活用したイベントの開催（ライトアップイベントの開催）
- 文化庁等の助成金を活用したイベントの開催（邦楽演奏会や寄席等の開催）